

〈調査報告〉

# 医療秘書学科学生を対象とした 満足度アンケート調査報告

西山良子\*, 竹重文雄\*\*, 山本まりこ\*\*

Report of survey on the degree of satisfaction for students subjected  
on medical secretary arts in Kansai Women's College

Ryoko Nishiyama, Fumio Takeshige and Mariko Yamamoto

## 研究背景と目的

多くの大学において教育改善の検討を図る目的で、学生を対象に満足度等に関するアンケート調査が実施されている。また、満足度調査結果を基に、様々な観点からの研究もされている。櫻井他(2020)は、佐久大学での学生生活に影響する要因として、「教員に必要なことを相談できること」、「交友関係を深められること」、「精神面の支援体制」、「くつろげる場所」が学生生活への満足度に有意な関連があったとしている<sup>1)</sup>。中下・八藤後(2017)は、学業意欲得点を高めている要因は「1日3食、ほぼ定期的に食事をしている」、「ボランティア活動をしている」、「よく会話する友人がいる」、「信頼できる友人がいる」の4項目であり、低めている要因は「授業中の居眠り」、「喫煙している」の2項目であるとしている<sup>2)</sup>。武蔵・河村(2016)は、学習意欲、進路意識など個人の目標達成に関わる領域と、友人との関係、教職員との関係、クラス・ゼミとの関係などの他者との関係性に関わる領域の両方が、意欲低下領域に関わっていることが明らかになったとしている<sup>3)</sup>。

本学においても、入学時から卒業するまでの間に「授業アンケート」、「学生満足度調査」、「短期大学生調査」、「卒業時アンケート」等、学生は多くの満足度等に関係するアンケートに回答している。しかし、それぞれのアンケート回答時期が異なることから、各々のアンケート回答結果を横断的に解析することが困難である。そこで、医療秘書学科学生を対象とし、短大生活のどのようなことに満足しているのか、反対にどのようなことに不満を感じているのかを横断的に探索するため、医療秘書学科独自の満足度アンケートを作成し、調査を実施

することが必要ではないかと考えた。

今回、医療秘書学科在学生の短大生活における満足度と生活習慣を含む生活状況、授業全般、教員との関係、学習状況など学習意欲に関連する事項についてアンケート調査を実施し、その結果を報告する。

## 調査概要

### 1. 調査対象

医療秘書学科の2021年度1年生21名、2年生30名、合計51名である。

### 2. 調査期間

2021年12月21日～12月24日

### 3. 調査方法と内容

倫理的配慮として、質問紙は無記名とし、研究目的以外でデータを使用しないことを説明し、同意を得て実施した。

調査内容は、櫻井他(2020)<sup>1)</sup>、育英短期大学学生満足度調査結果(2021)<sup>4)</sup>、寺田他(2011)<sup>5)</sup>を参考にし、調査用紙を作成した。調査内容の概要は表1のとおりである。

### 4. 回答数

有効回答数は、1年生21名、2年生29名、合計50名(98.0%)であった。なお、無回答の項目については、その項目のみを欠損値として分析から除外した。

受付日 2022. 5. 20 / 掲載決定日 2022. 9. 29

\*関西女子短期大学 准教授

\*\*関西女子短期大学 教授

表 1 調査内容の概要

項目	内容
学生生活に関する事項	学生生活全般について、校風やキャンパスの雰囲気について、施設・設備について、取得できる資格について※、資格取得の支援について※、就職支援について(2年生のみ)※、事務職員の対応について、短大での友人関係について※※、朝食について、睡眠時間(平日、授業がある日の平均)について、就寝時間(平日、授業がある日の平均)について、
授業に関する事項	教育課程(カリキュラム)について※、授業の内容について※、授業で興味深いことをたくさん学ぶことができたか、入学当初と比べて成長できたか
教員に関する事項	ゼミ担当教員について※※、教員に悩み等を相談できるか※、授業以外で教員とのコミュニケーションがとれているか
学習意欲に関する事項	授業中居眠りをしているか、授業中他のことを考えているか、入学当初と比べて現在の学習意欲に変化はあるか※※、入学当初と比べて現在の検定試験へのモチベーションに変化はあるか※※

※:「やや不満である」「不満である」と回答した理由を記載する自由記述欄を設けている  
 ※※:回答した理由を記載する自由記述欄を設けている

調査結果

1. 学生生活に関する事項

(1) 学生生活全般について

学生生活全般についての結果を図1に示す。「満足している・やや満足している」と回答した学生は、1年生80.9% (17名)と約8割に対し、2年生では48.2% (14名)と5割弱という結果であった。1年生は概ね学生生活全般に満足していると言えるが、2年生は27.6% (8名)が「やや不満である・不満である」と回答してお

り、2年生の方が学生生活全般の満足度は低かった。

(2) 校風やキャンパスの雰囲気について

校風やキャンパスの雰囲気についての結果を図2に示す。「満足している・やや満足している」と回答した学生は、1年生85.7% (18名)に対し、2年生では55.1% (16名)であった。1年生は概ね校風やキャンパスの雰囲気について満足していると言えるが、2年生は17.2% (5名)が「やや不満である」と回答しており、2年生の方が校風やキャンパスの雰囲気についての満足度は低かった。

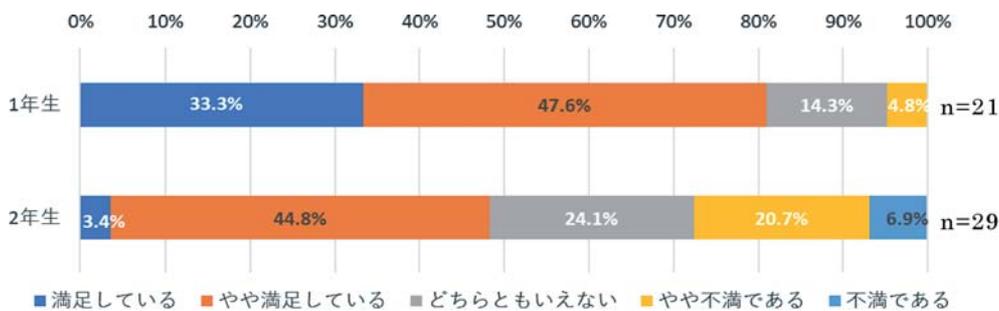


図1 学生生活全般について

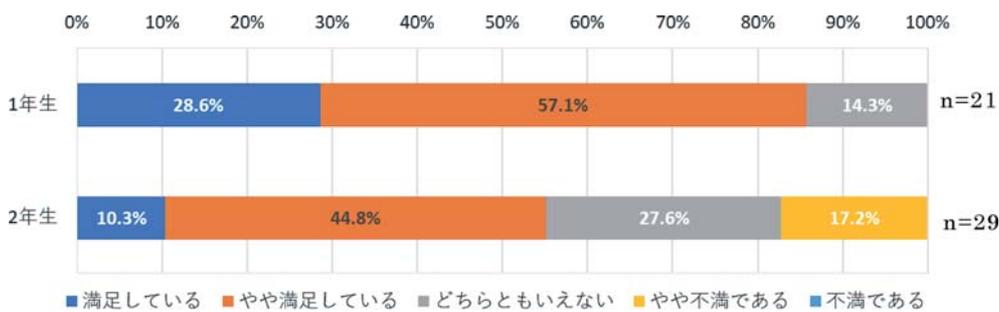


図2 校風やキャンパスの雰囲気について

(3) 施設・設備について

施設・設備についての結果を図3に示す。「満足している・やや満足している」と回答した学生は、1年生71.4%（15名）、2年生37.9%（11名）であった。1年生は7割強の学生は満足しているが、2年生では4割弱であり、2年生の方が施設・設備についての満足度は低かった。

(4) 取得できる資格について

取得できる資格についての結果を図4に示す。「満足している・やや満足している」と回答した学生は、1年生95.2%（20名）、2年生82.1%（23名）であった。1・2年生共に8割以上の学生が、取得できる資格については満足していることが示された。2年生で「やや不満である」と回答した理由に、「簿記の資格が取りたかった」という意見があった。

(5) 資格取得の支援について

検定対策等の資格取得の支援についての結果を図5に示す。「満足している・やや満足している」と回答した学生は、1年生95.2%（20名）、2年生86.2%（25名）であった。1・2年生共に「やや不満である・不満である」と回答した学生はいなかったため、資格取得の支援については満足している学生が多いと言える。

(6) 就職支援について（2年生のみ）

1年生はまだ就職活動が始まっていないため、2年生のみ調査内容に入れた。就職支援についての結果を図6に示す。「満足している・やや満足している」と回答した学生は、79.3%（23名）であり、8割弱の学生は就職支援については満足していることが示された。「やや不満である」と回答した学生は3.4%（1名）であったがその理由の記載はなかった。

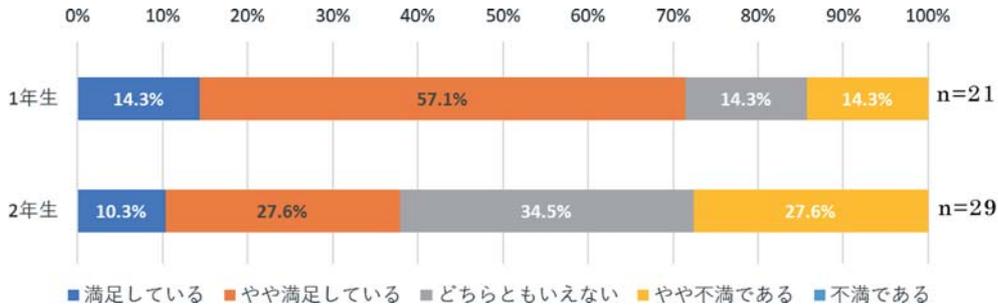


図3 施設・設備について

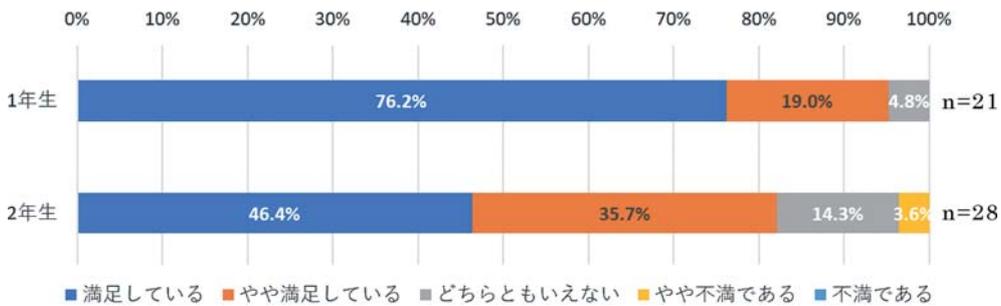


図4 取得できる資格について

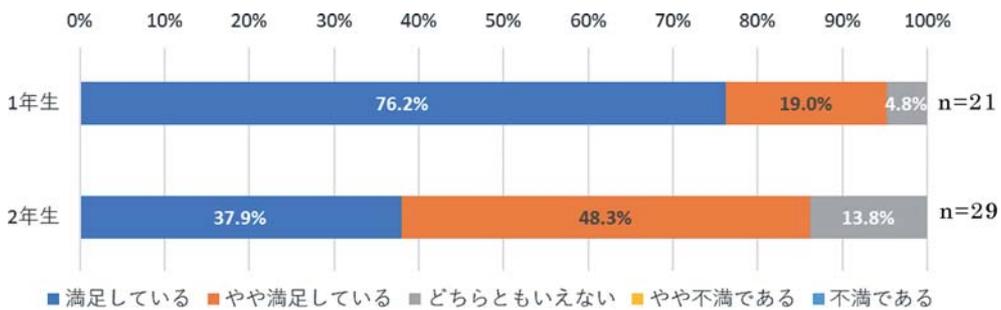


図5 資格取得の支援について

(7) 事務職員の対応について

事務職員の対応についての結果を図 7 に示す。「満足している・やや満足している」と回答した学生は、1 年生 90.5% (19 名) に対し、2 年生は 72.4% (21 名) であった。1 年生の大半は事務職員の対応に満足しているが、2 年生の内 13.7% (4 名) は「やや不満である・不満である」と回答している。その理由の記載はなかったため不明である。

(8) 短大での友人関係について

短大での友人関係についての結果を図 8 に示す。「満足している・やや満足している」と回答した学生は、1 年生 85.7% (18 名)、2 年生 75.8% (22 名) であった。1・2 年生共に、7 割以上の学生は短大での友人関係について満足していることが示された。その理由として、「楽しく過ごせている」、「何でも話せる友達ができた」、「良い友達ができただ」等の記載があった。

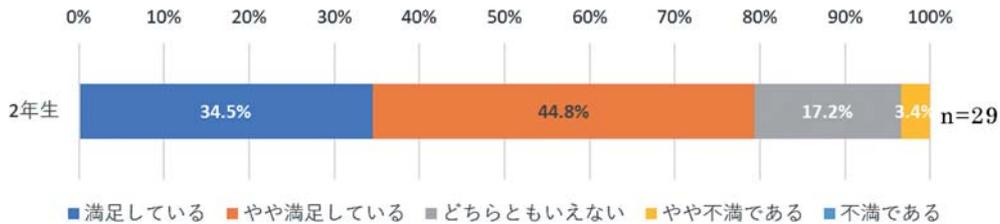


図 6 就職支援について

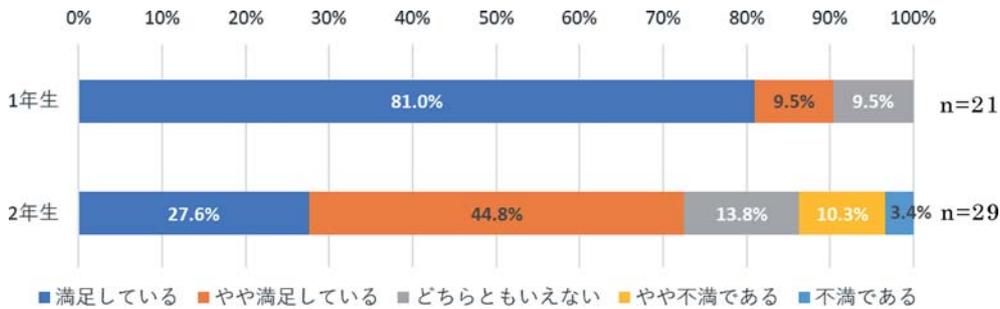


図 7 事務職員の対応について

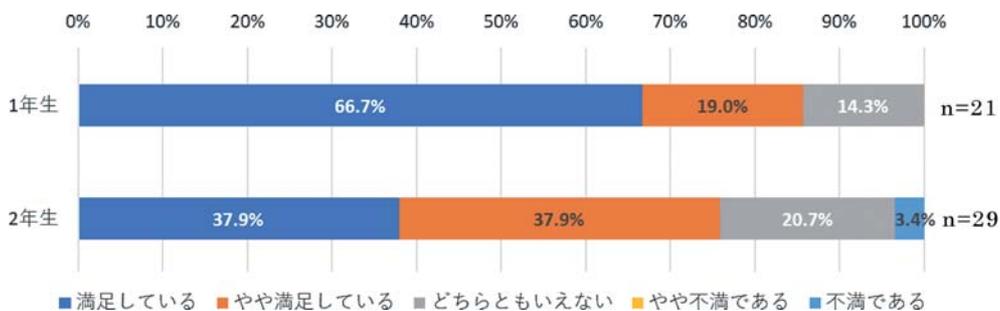


図 8 短大での友人関係について

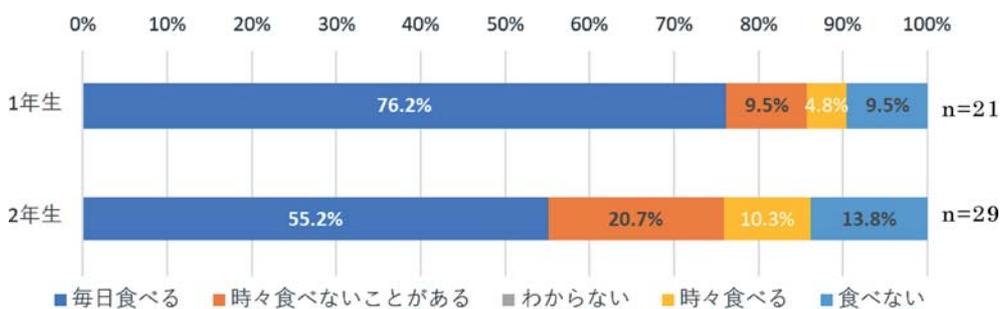


図 9 朝食について

(9) 朝食について

朝食の摂取状況の結果を図9に示す。「毎日食べる・時々食べないことがある」と回答した学生は、1年生85.7%（18名）、2年生75.9%（22名）という結果であり、1年生の方が朝食を摂取している人が多かった。一方、「時々食べる・食べない」と回答した学生は、1年生14.3%（3名）、2年生24.1%（7名）であった。

(10) 睡眠時間（平日、授業がある日の平均）について

平日、授業がある日の平均睡眠時間の結果を図10に示す。「6～7時間」と回答した学生は、1年生45.0%（9名）、2年生58.6%（17名）と共に多かった。また「3～5時間」と回答した学生は、1年生35.0%（7名）、2年生24.1%（7名）であり、「6～7時間」の次に多かった。一方、「10時間以上」、「2時間未満」と回答した学生はいなかった。

(11) 就寝時間（平日、授業がある日の平均）について

平日、授業がある日の平均就寝時間の結果を図11に示す。1年生では「22時～24時」と回答した学生は35.0%（7名）と一番多かったが、2年生では「24時～1時」と回答した学生が41.4%（12名）と一番多かった。また、2時以降と回答した学生が1年生では15.0%（3名）、2年生20.7%（6名）であり、2年生の方が就寝時間は遅い人が多いことがわかった。

2. 授業に関する事項

(1) 教育課程（カリキュラム）について

教育課程（カリキュラム）についての結果を図12に示す。「満足している・やや満足している」と回答した学生は、1年生85.7%（18名）、2年生62.1%（18名）という結果であった。1年生は概ね教育課程（カリキュラム）については満足していると言えるが、2年生は1

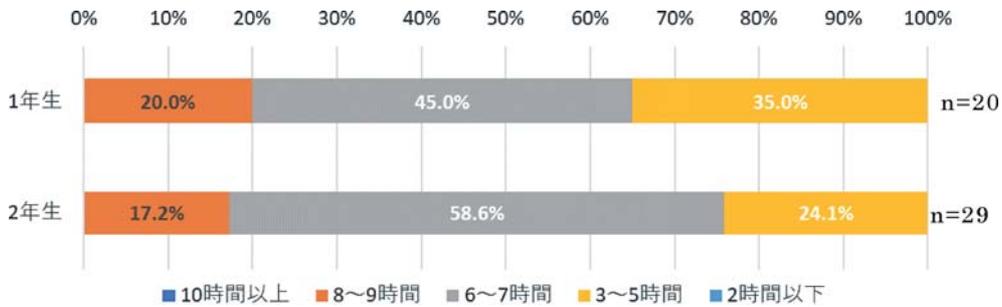


図10 睡眠時間について

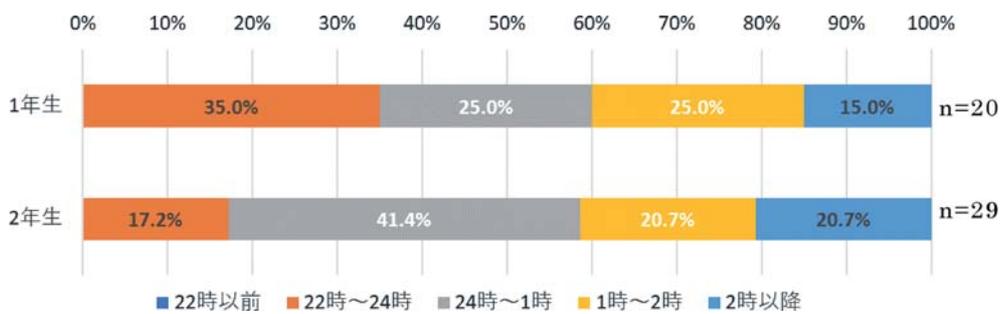


図11 就寝時間について

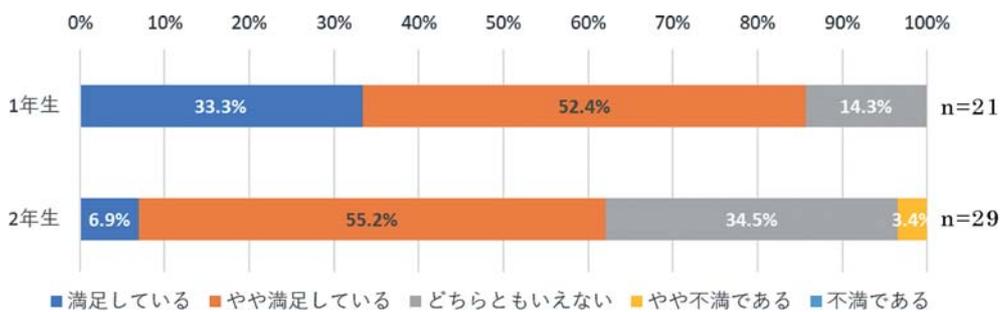


図12 教育課程（カリキュラム）について

年生に比べると満足度は 23.6% 低いことが示された。2 年生の「やや不満である」と回答した理由に、「必要でない科目があったのでもっと必要な科目を深く学べたらいいなと思った」という記載があった。

(2) 授業の内容について

授業の内容についての結果を図 13 に示す。「満足している・やや満足している」と回答した学生は、1 年生 76.2% (16 名)、2 年生 55.1% (16 名) であり、2 年生の方が授業内容についての満足度は低かった。「やや不満である」と回答した 2 年生は 13.8% (4 名) であり、その理由には、「授業がわかりにくい先生がいるため理解するのに時間がかかった」、「よくわからない授業もある」等の記載があった。

(3) 授業で興味深いことをたくさん学べているか

授業で興味深いことをたくさん学ぶことができたかの結果を図 14 に示す。「できた・ややできた」と回答した

学生は、1 年生 95.2% (20 名)、2 年生 72.4% (21 名) であった。1 年生は概ね授業で興味深いことをたくさん学ぶことができていると言えるが、2 年生は「あまりできていない」と回答した学生が 10.3% (2 名) おり、1 年生と比較して満足度が低かった。

(4) 入学当初と比べて成長できたか

入学当初と比べて成長できたかの結果を図 15 に示す。「できた・ややできた」と回答した学生は、1 年生 90.5% (19 名)、2 年生 68.9% (20 名) であった。1 年生の大半は入学当初と比べて成長したと感じているようだが、2 年生では 7 割弱と 1 年生と比較して低く、「あまりできていない・できていない」と回答した学生が 10.3% (3 名) いた。

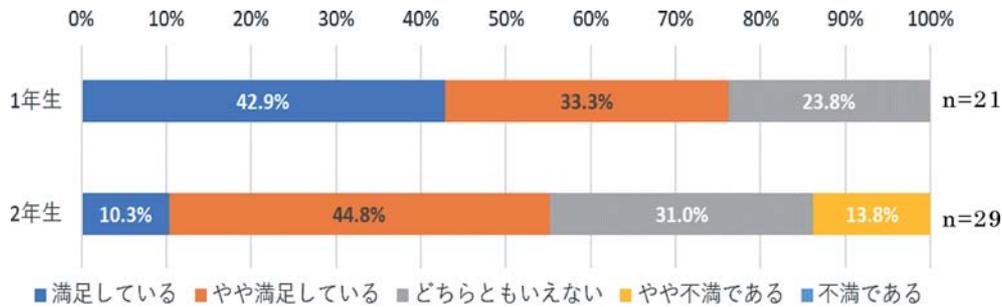


図 13 授業の内容について

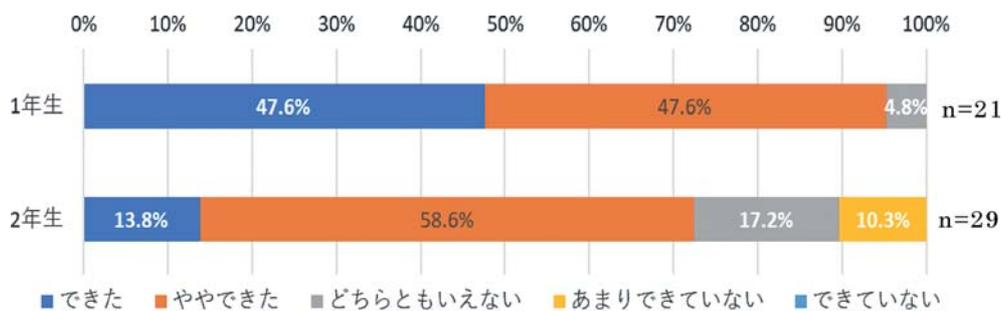


図 14 授業で興味深いことをたくさん学べているか

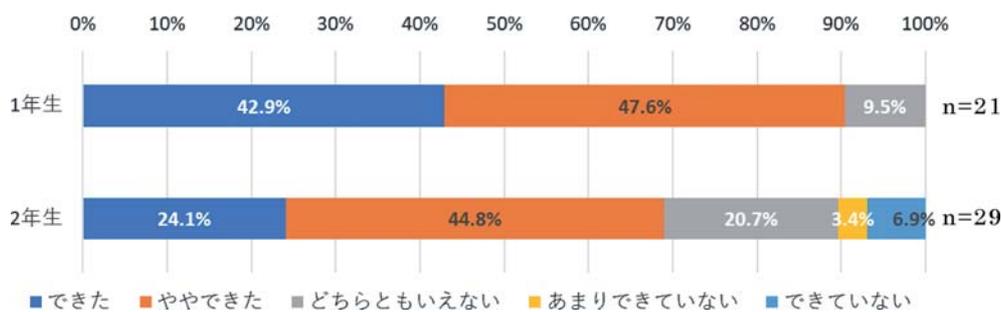


図 15 入学当初と比べて成長できたか

### 3. 教員に関する事項

#### (1) ゼミ担当教員について

ゼミ担当教員についての結果を図16に示す。1年生は21名全員、2年生は89.7%（26名）が「満足している・やや満足している」と回答していた。1・2年生共に、「やや不満である・不満である」と回答した学生はいなかったため、ゼミ担当教員については満足している学生が多いと言える。回答の理由には、「親身になってくれる」、「相談にのってくれる」、「優しい」、「話しやすい」、「就職活動の支援をしてくれた」などの記載が多かった。

#### (2) 教員に悩み等を相談できるか

教員に悩み等を相談できるかの結果を図17に示す。1年生は「できる・ややできる」と回答した学生は81.0%（17名）で、「あまりできない・できない」と回答した学生はいなかった。2年生は「できる・ややできる」と

回答した学生は69.0%（20名）であり、1年生よりも悩み等を教員に相談できる学生が少ないことがわかった。「あまりできない・できない」と回答した学生は10.3%（3名）だった。その理由として、「教員よりも親に相談したほうが楽だから」、「相談しようと思わない」、「もともと人に相談しない」という記載があった。

#### (3) 授業以外で教員とのコミュニケーションがとれているか

授業以外で教員とのコミュニケーションがとれているかの結果を図18に示す。「とれている・ややとれている」と回答した学生は、1年生71.4%（15名）、2年生65.5%（19名）であった。なお、少数ではあるが1年生では1名、2年生では4名「あまりとれていない・とれていない」と回答した学生がいた。



図16 ゼミ担当教員について

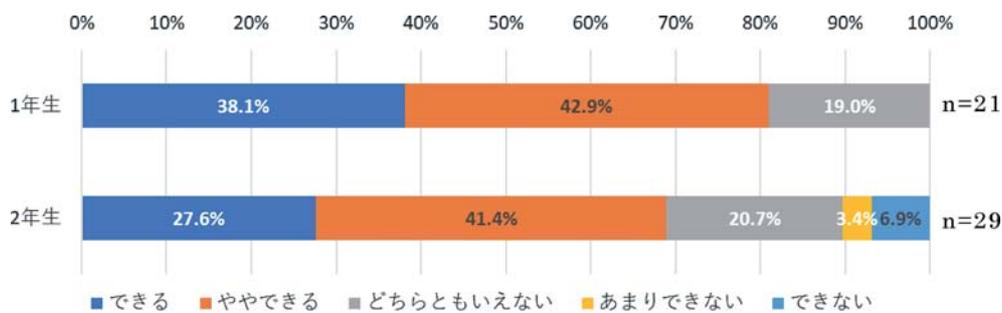


図17 教員に悩み等を相談できるか

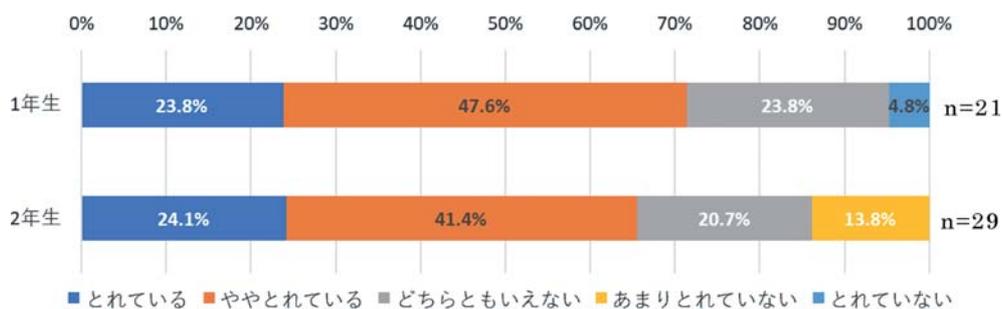


図18 授業以外で教員とのコミュニケーションがとれているか

#### 4. 学習意欲に関する事項

##### (1) 授業中居眠りをしているか

授業中居眠りをしているかの結果を図 19 に示す。「たまにしている」と回答した学生が 1 年生 50.0% (10 名)、2 年生 65.5% (19 名) と一番多かった。「している・よくしている」と回答した学生は 1 年生 25.0% (5 名)、2 年生 13.8% (4 名) であり、2 年生より 1 年生の方が授業中、居眠りをしている学生が多かった。

また、学生生活に関する事項 (9) 睡眠時間 (平日、授業がある日の平均) で「3~5 時間」と回答した 1 年生 7 名、2 年生 7 名の内、授業中居眠りを「している・よくしている」と回答した学生は 1 年生 14.3% (1 名)、2 年生 42.9% (3 名) であった。

##### (2) 授業中他のことを考えているか

授業中他のことを考えているかの結果を図 19 に示す。1 年生、2 年生共に「考えていない」と回答した人が 5

%以下 (1 名) であり、50% 以上の人が「たまに考えている」と回答していた。また、「考えている・よく考えている」と回答した学生は、1 年生 30.0% (6 名)、2 年生 34.4% (10 名) であり、3 割程度の学生は授業に集中できていないようだ。

##### (3) 入学当初と比べて現在の学習意欲に変化はあるか

現在の学習意欲の変化についての結果を図 21 に示す。「変わらない」と回答した学生は 1 年生 45.0% (9 名)、2 年生 31.0% (9 名) と一番多かった。1 年生は、「上がった・やや上がった」と回答した学生が 40.0% (8 名)、「やや下がった・下がった」は 15.0% (3 名) であった。一方 2 年生では「上がった・やや上がった」と回答した学生は 41.4% (12 名)、「やや下がった・下がった」は 27.6% (8 名) であり、1 年生より 2 年生の方が学習意欲の下がった学生が多いことが示された。1 年生の意欲が上がった回答理由では、「課題がでることが増

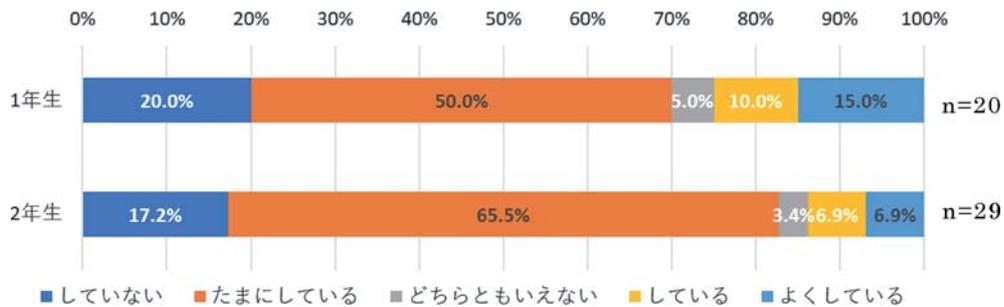


図 19 授業中、居眠りをしているか

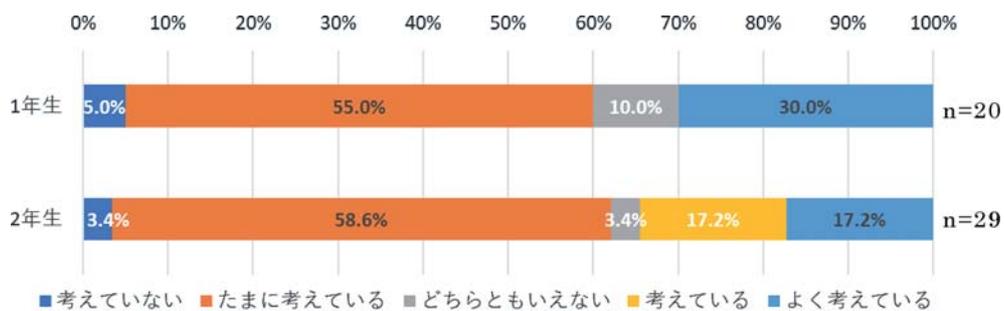


図 20 授業中、他のことを考えているか

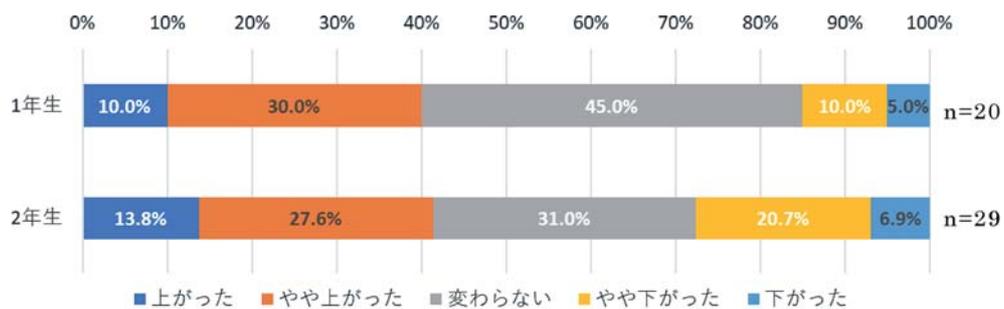


図 21 学習意欲の変化について

え、自然に勉強しやな！となりました」、**「パソコンの授業が特に上がりました」**、**「予習・復習をするようになった」**、**「思ったより自分が勉強しているから」**等の記載があった。2年生の意欲が上がった理由では、**「更に多くの知識を身につけたいと思った」**、**「病院実習に行ったことで、自分が今学ぶべきことはまだまだ沢山あると気づいたから」**、**「わからなかったことがわかるようになってきたから」**等の記載があった。反対に意欲が下がった回答理由では、**「就職が決まって安心してしまっているため」**、**「難しくなって嫌になった」**、**「最後に遊びたい」**、**「授業に集中できない」**等の記載があった。

また、(2) 授業中他のことを考えているかで**「考えている・よく考えている」**と回答した1年生6名、2年生10名の内、学習意欲が**「やや下がった・下がった」**と回答した学生は、1年生50.0% (3名)、2年生40.0% (4名)であった。

(4) 入学当初と比べて現在の検定試験へのモチベーションに変化はあるか

現在の検定試験へのモチベーションの変化についての結果を図22に示す。**「変わらない」**と回答した学生は1年生40.0% (8名)、2年生41.4% (12名)と一番多かった。**「上がった・やや上がった」**と回答した学生は1年生45.0% (9名)、2年生37.9% (11名)であり、1年生の方が検定試験へのモチベーションが上がっていることが示された。1年生のモチベーションが上がった回答理由として、**「一緒に頑張る友達が増えた」**、**「みんながとっているのを見て、負けてられないと思ったから」**、**「対策授業がしっかりしているので勉強しようと思う」**等の記載があった。2年生のモチベーションが上がった回答理由は、**「病院実習に行ったことで、やっぱり資格は必要だと気付いたから」**、**「自分のスキルアップのために就職してからも検定取得に力を入れたいと思う」**、**「知識が増える」**等の記載があった。一方モチベーションが下がった回答理由では、**「必要性が少なくなった」**、**「授業とバイトでしんどい」**、**「無くても良いかもと思いはじめた」**等の記載があった。

## 考 察

### 1. 1年生の回答結果について

学生生活に関する事項、授業に関する事項、教員に関する事項についての質問に対し、ほとんどの項目に関して8割以上の学生が**「満足している・やや満足している」**と回答していた。しかし、施設・設備についての満足度は71.4%、授業の内容については76.2%、授業以外で教員とのコミュニケーションが取れているかは71.4%であり、8割を下回る結果であった。

睡眠時間 (平日、授業がある日の平均) を**「3~5時間」**と回答した7名の内、授業中居眠りをしているかの質問に対し、**「している・よくしている」**と回答した学生は1名しかおらず、睡眠時間が短いからといって授業中居眠りをよくするとは言えないことが示された。

授業中、他のことを考えているかの質問に対し、**「よく考えている」**と回答した学生が30.0% (6名)おり、同学生の内、学習意欲が**「やや下がった・下がった」**と回答した学生は半数の3名であり、授業中、他のことを考えているからといって学習意欲が下がったとは一概には言えないことが示唆された。

### 2. 2年生の回答結果について

取得できる資格について、資格取得の支援について、ゼミ担当教員についての質問に対し、8割以上の学生が**「満足している・やや満足している」**と回答しており、他の回答に比べ満足度が高いことが示された。しかし、学生生活全般についての満足度は48.2%、校風やキャンパスの雰囲気については55.1%、施設・設備については37.9%、授業の内容については55.1%と6割に満たない結果であった。学生生活全般について**「やや不満である・不満である」**と回答した8名が共通して不満だと感じている質問項目はなかったため、どのようなことに不満を感じていると満足度が下がるのかを明らかにすることはできなかった。

睡眠時間 (平日、授業がある日の平均) を**「3~5時**

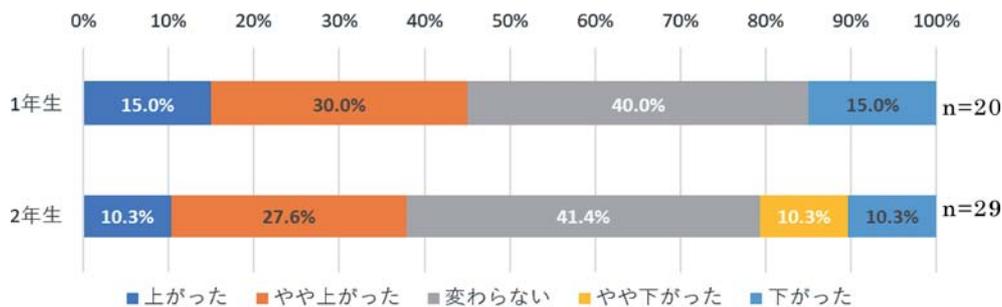


図22 検定試験へのモチベーションについて

表 2 1 年次の授業体制と来学頻度

学期	1 年生	授業体制	来学頻度	2 年生	授業体制	来学頻度
春学期	2021 年度 1 年生	授業開始後 2 週間は全て対面授業 3 週目から 11 週目までリモート授業と対面授業 12 週目から全て対面授業	毎日 週 2 日  毎日	2020 年度 1 年生	授業開始後 8 週目まで manaba で課題対応 9 週目から全て対面授業 (14 週目に 1 週間 休講有) ※8/5 まで演習科目の補講実施	1 日 毎日
秋学期		授業 1 週目のみリモート授業と対面授業 2 週目から全て対面授業	週 2 日 毎日		1 週目から全て対面授業	毎日

問」と回答した 7 名の内、授業中居眠りをしているかの質問に対し、「している・よくしている」と回答した学生は 4 名しかおらず、1 年生と同様に睡眠時間が短いからといって授業中居眠りをよくするとは言えないことが示された。授業中、他のことを考えているかの質問に対し「考えている・よく考えている」と回答した学生 34.4% (10 名) の内、学習意欲が「やや下がった・下がった」と回答した学生は 4 名であり半数に満たなかった。1 年生と同様に、授業中、他のことを考えているからといって学習意欲が下がったとは言えないことがわかった。

### 3. 1 年生と 2 年生の回答結果の比較

今回の調査結果から、2 年生に比べ 1 年生の方が短大生活に関する満足度が高いことが示された。2 年生の満足度が低くなった要因として、コロナ禍の授業体制や来学頻度等が関係している可能性があるのではないかと考える。それぞれの 1 年次の授業体制と来学頻度を表 2 に示す。2 年生は、入学してすぐ約 2 ヶ月間 manaba 等を利用した課題対応になり、学科の学生と関わる機会もなかった。友人もできない状況の中、多くの課題に取り組まなくてはならなかった。一方、1 年生は、入学当初から、リモート授業と対面授業を行い、週 2 日は来学していた。そのため、学科の学生と関わる機会があり、友人もできている学生が多かった。以上のことから、コロナ禍の授業体制や来学頻度は、2 年生の短大生活満足度が低くなった要因の一つになるのではないかと考える。しかし、今回の調査内容に入れていなかったため、その関係性を明らかにすることはできない。

共通して満足度が 8 割を超えていたのは、取得できる資格について、資格取得支援について、ゼミ担当教員についての 3 項目である。この結果から、短大生活の満足度が下がる要因として、資格取得に関することとゼミ担当教員についての関係性は低いのではないかと推察する。

特に 1 年生と 2 年生の回答に 3 割以上の差が見られた項目は、学生生活全般について、校風やキャンパスの雰

囲気について、施設・設備についてであり、全て学生生活に関する事項であった。2 年生が不満だと感じる理由を今回は聞いていなかったため、次回調査する際の課題としたい。

入学当初と比べて成長できたかという質問に対し「できた・ややできた」と回答した学生は 1 年生 90.5% (19 名) に対し、2 年生 68.9% (20 名) であり 21.6% も低かった。2 年生の方が多くのことを学んできたため、成長できたと回答する学生が多くなるのではないかと予測していたが、本結果の要因解明が必要と思われた。

学習意欲の変化については、1 年生・2 年生共に「上がった・やや上がった」と回答した割合にそれほど差は見られなかったが、「やや下がった・下がった」と回答した割合が 2 年生の方が 12.6% 高かった。

## 結 論

本研究の目的は、医療秘書学科独自の満足度アンケートを実施し、短大生活のどのようなことに満足しているのか、反対にどのようなことに不満を感じているのかを横断的に探索することであった。

今回の調査結果から、2 年生より 1 年生の方が短大生活における満足度が高いことが示された。しかし、本結果の要因解明までには至らなかったため、今後は調査内容を検討し、引き続き研究を行う必要があると考える。

### 謝辞

アンケート調査にご協力くださいました学生の皆様に深く感謝申し上げます。

### 引用文献

- 1) 櫻井綾香・朴相俊・高野美穂・篠崎一栄・鈴木真理子・武田貴美子・石坂俊也・柴田香奈子・柳澤佳代・八尋道子：キャンパスライフの満足度 2019 年度学生アンケートの分析から、佐久大学看護研究雑誌、12(2)、193-202、2020
- 2) 中下紀子・八藤後忠夫：大学生の日常生活が学業意欲に及ぼす影響、文教大学紀要、39、183-192、2017
- 3) 武蔵由佳・河村茂雄：大学生における学校生活満足度と学校生活意欲との関連、教育カウンセリング研究 Vol.7

- No.1、35-44、2016
- 4) 育英短期大学 (2021) 「学生満足度調査結果」、『2020 年度学生満足度調査 2 年生』、[https://www.ikueig.ac.jp/college/guide/info/pdf/manzokudo\\_2020\\_college\\_02.pdf](https://www.ikueig.ac.jp/college/guide/info/pdf/manzokudo_2020_college_02.pdf)
- 5) 寺田裕樹・成田有吾・久田雅紀子・種田ゆかり・今井奈妙：看護学生におけるストレスによる学習への影響、三重看護学誌、13、73-81、2011